

学園だより

社会福祉法人 至誠学園立川

至誠学園

平成25年7月10日

〒190-0022 東京都立川市錦町 6-26-15

TEL 042-524-2601 FAX 042-524-2367

<http://www.shiseigakuen.org/> Email: info@shisei.org

発行 児童事業部 広報委員会
事務局長 高橋久美子

新たな未来に向けて
新しい児童養護施設

至誠大空の家 完成



写真上：ご支援ご協力
いただいた皆様方と落
成式にて。
写真左：あいさつする
高橋利一理事長
写真中：
ゴールドマン・サック
ス証券持田昌典代表取
締役社長様と高橋利一
理事長。

4月11日(木)、至誠大空の家の落成式を挙行いたしました。年度初めの繁忙期にも関わらず、東京都福祉保健局より廣瀬 豊少子社会対策部長、そして当施設の開設に多大なるご支援を賜りましたゴールドマン・サックス証券持田昌典代表取締役社長をはじめ多くのご支援いただきました方々、多摩地区の施設関係者、建設関係者のご臨席を賜り、多くの暖かな励ましの言葉を頂戴いたしました。皆様のご期待を胸に職員一同、子ども達が社会に大きく羽ばたけるよう、力を尽くして参りたいと思います。

特にゴールドマン・サックス証券持田昌典代表取締役社長様には建設にあたっての資金をご寄付いただき、借入金も無く建設ができました。また、児童養護施設の児童への自立支援プログラム、施設のコンセプト作り等、より円滑な運営へのアドバイスを頂きました。土地は新都市公社からの借地、設備や備品等は各助成団体からのご寄贈、資金援助をいただきました。あらためて、ご支援いただきました皆様方に感謝申し上げます。

高橋利一理事長・国分美希至誠大空の家施設長

平成24年度 事業報告 児童事業本部（至誠学園・大地の家・まことくらぶ）

児童事業本部

至誠学園開設60周年記念行事の実施と60周年誌の発行をしました。新しい児童養護施設「大空の家」（定員30名）の建設工事を、国・都の補助金、本事業のためいただいた高額寄付金にて行いました。また、助成団体に支援を求めて、子どもたちの自立のための奨学金制度の設立し、バザー、後援会の拡充を行いました。

地域子育て支援としては、子どもショートステイ事業や児童館活動、里親家庭支援としては、学園主催の研修会や行事を共に実施しました。

人材養成事業の推進として、研修プログラムの充実と体系化、児童養護施設職員研修への参加協力、児童虐待防止月間事業であるシンポジウムの実施、全国社会福祉協議会福祉QC活動指導への参加などさまざまな面から人材育成に取り組みました。（小山廣重児童事業本部長）

至誠学園 定員76名

グループホームの再編、定員の適正化に向けて、地域小規模児童養護施設を1か所廃止し、本園4ユニットホーム、都型グループホーム5、地域小規模児童養護施設1、小規模グループケア地域型ホーム1として、定員を変更しました。職員の養成では、法人将来構想委員会の結果を踏まえ、子どもにとっても、職員が働きやすく、より高いパフォーマンスを発揮できるような環境作りを目指して、就業規則の変更しました。高校卒業後の進路選択として大学等の進学が可能になるように、奨学金制度の創設、学生寮の設置、自立支援プログラムの実施をすすめ、学習指導は学習塾（学究社）のボランティア協力により、園内学習塾設置を中心に行いました。

平成24年末に職員による児童への不適切なかかわりがあり、学識者の方を含めた改善委員会を設置し、再発防止の方策を検討しました。

職員46 準職員22 （石田芳朗施設長）

至誠大地の家 定員36名

地域小規模児童養護施設「青柳 HOUSE」の開設、1.2歳児を対象としたモンテッソーリ立川子どもの家（どんぐり）の開設を行い、家庭復帰に向けて宿泊プログラム、保護者に向けての各種活動を積極的に行いました。

職員30 準職員16 （高橋誠一郎施設長）

まことくらぶ

利用者の確保に努め（年間平均利用率89%）、事業所としてははじめて福祉サービス第三者評価の利用者調査とサービス項目を中心とした評価を受審しました。災害対策として、緊急時の家庭及び関係機関との連絡訓練を行い、防災用品購入、PCによる効率的な記録のための方法を作り実施し、記録時間の短縮ができました。またグループホーム開設に向けて、児童・高齢者複合型福祉施設プロジェクトに参加し、新しい事業の展開についても利用者、家族、関係機関の希望を聞きながら検討をすすめました。（阿久津嘉代子施設長）

苦情解決システム—第三者委員の皆さま

社会福祉法第82条に基づき、利用者である子どもたちや保護者等からの苦情・意見・要望に対して適切な対応に努めています。

日常的に子どもたちに「困ったことがあれば相談できる」という意識を育て、いつでも利用できる意見表明の機会として「みんなの箱」を本園、グループホームに設置して活用を促しています。

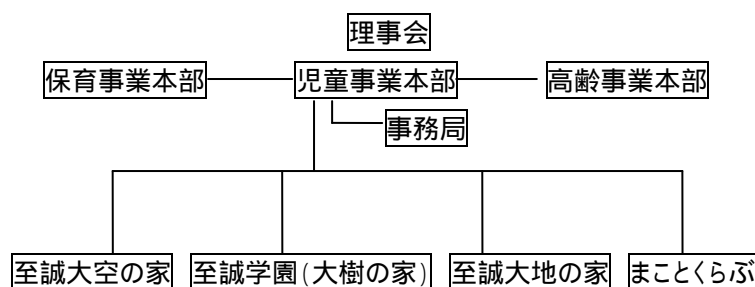
今年度は名取種子氏（立川市更生保護婦人会会長）佐々木信孝氏（至誠学園後援会会長）、西村一夫氏（前錦六会会長）の皆様です。

決算の詳細は至誠学園ホームページをご覧ください
<http://shiseigakuen.org/>

平成24年度 決算報告（平成25年5月理事会にて承認）

		児童事業本部	至誠学園	至誠大地の家	至誠大空の家	まことくらぶ
収入	国及び都からの補助金	0	413,808,182	271,842,611	203,142,000	39,356,575
	寄附金収入	27,351,835	3,308,750	227,785	12,372,300	86,420
	自己資金	8,394,179	16,826,992	8,372,683		47,054
	積立預金の取崩	153,860,000				
	借入金借入	20,000,000				
	就労支援事業収入					7,281,694
	児童事業本部より繰入	0	16,000,000	0	150,500,000	
	計	209,606,014	449,943,924	280,443,079	366,014,300	46,771,743
支出	人件費、事務費、子どもの生活費	41,722,683	425,899,487	210,439,843	23,668,997	38,831,486
	借入金返済	5,744,788	20,180,065	7,720,000		
	各施設へ繰入	166,500,000				
	その他支出（固定資産取得）		3,637,546	1,244,889	330,364,947	463,790
	積立預金の積立			60,000,000		
	就労支援事業支出					11,360,260
	計	213,967,471	449,717,098	279,404,732	354,033,944	50,655,536
当期繰越金		4,361,457	226,826	1,038,347	11,980,356	3,883,793

平成25年度 事業計画 児童事業本部(至誠学園・大地の家・大空の家・まことくらぶ)



児童事業本部

今年の重点目標としては、至誠学園、至誠大地の家、至誠大空の家の3施設のコンセプトを生かしつつ、一体的な経営をめざします。法人の「新たな世代の羅針盤」を受けて、児童事業本部の中長期計画について検討します。国の「社会的養護の課題と将来像」にむけての取り組みを検討します。

また、中高生への自立支援を推進するために進学奨学金基金として「至誠奨学育英会」の設置、ファンディング活動の推進を予定しています。

(小山廣重児童事業本部長)

至誠学園

児童定員68名(本園4、都型グループホーム5、小規模グループケア地域型ホーム1)、地域小規模児童養護施設1(児童定員6名)
 <職員46名、非常勤21名>

定員規模の適正化に向けて、グループホーム2か所の削減、本園ユニットの小規模化を進め、定員を74名から62名に段階的に移行させ、ユニットケアのさらなる充実をめざします。また、ワーク&ライフバランスの検討として、職場労働環境の改善に努め、就業規則を見直し、休日の年間日数など改善を実施します。

昨年度の職員の不適切なかかわりにより設置された改善委員会の検討結果を踏まえて、「児童の権利擁護」について考えるための職員研修を4回実施する予定です。講師は若穂井透弁護士を予定しています。

(石田芳朗施設長)

至誠大地の家

ユニット型ホーム4(児童定員30名)、地域小規模児童養護施設1(児童定員6名)

<職員33名、非常勤8名>

今年度は第2グループホーム(小規模グループケア地域型ホーム)を年度内に開設予定であり、虐待等保護児童増に協力するため、定員2名の増加を予定しています。さらに至誠学園との一体的な運営として、至誠学園の定員規模の適正化に向けた協力を予定しています。

(高橋誠一郎施設長)

至誠大空の家

児童定員30名、職員15名、非常勤6名

今年度新設のため、児童養護施設の専門性、設備を生かして、地域の子育て支援に貢献していくことを基本にします。また、入所計画は子どもの生活環境を安定させていくために調整して行うこと、地域小規模児童養護施設の併設を準備する予定です。

(国分美希施設長)

まことくらぶ

(就労支援B型事業定員20名、職員5名、契約職員5名)

利用者や地域からのニーズによる新たなサービスを実施する「出張所 あずま」の年度内開設をめざすこと、また業務内容の点検を行い、サービスの向上と職員のよりよい働く場作り、防火防災対策の充実など取り組みます。

(阿久津嘉代子施設長)

予算の詳細は至誠学園ホームページをご覧ください
<http://shiseigakuen.org/>

平成25年度 予算計画(平成25年3月理事会にて承認)

		児童事業本部	至誠学園	至誠大地の家	至誠大空の家	まことくらぶ
収入	国及び都からの補助金	0	400,252,000	259,016,000	143,577,000	36,000,000
	寄附金収入	26,000,000	2,050,000	228,000	100,000	100,000
	自己資金	8,846,000	14,391,000	7,868,000	2,460,000	50,000
	積立預金の取崩	6,939,000	0	0	0	
	借入金借入	0	0	0	0	
	就労支援事業収入					9,000,000
	児童事業本部より繰入	0	12,110,000	0	0	
	計	41,785,000	428,803,000	267,112,000	146,137,000	45,150,000
支出	人件費、事務費、子どもの生活費	22,911,000	408,930,000	219,732,000	112,738,000	35,800,000
	借入金返済	6,764,000	19,873,000	7,636,000	0	
	各施設へ繰入	12,110,000	0	0	0	
	その他支出(固定資産取得)	0	0	0	18,000,000	
	積立預金の積立	0	0	30,000,000	10,000,000	
	就労支援事業支出					9,000,000
	計	41,785,000	428,803,000	257,368,000	140,738,000	44,800,000
予備費		0	0	9,744,000	5,399,000	350,000

地域社会とともに 3年ぶりのガーデンパーティは大盛況 4/29

「大空にかけよう虹の橋」をテーマとして、こども達の健やかな成長を祝うガーデンパーティーを、3年ぶりに開催(4/29)しました。今年は「至誠大空の家」も加わり、児童事業本部代表の職員で組織する企画委員会で検討し、ご支援いただいている団体の皆様と実行委員会を開催し、子どもたちにとって楽しい1日になるよう話し合いと準備を重ねました。園庭と周辺の敷地を使い、地域の各団体による遊びのコーナー、食事のコーナー、ステージ出演などのプログラムで、天候にも恵まれ、総勢1200名ほどの参加で大盛況に終了することができました。

今年も多くの方々をお迎えし、児童福祉週間の啓発活動の一環として活動を行うことができたこと、また多くの方々にご支援・ご協力をいただきましたことに、心より感謝を申し上げます。



写真上:参加の皆様とともに
写真下:左からマルラニ・フラ・スタジオの可愛いフラダンス、「起震車」による地震の体験、新体操 B.R.G.の優雅な演技、明星大学吹奏楽団の迫力の演奏。

高橋利一学園長 叙勲のお祝いの会 6/9



高橋利一統括学園長がこのたび瑞宝双光賞を受賞し、学園(大地・大空の子どもたちも含む)、後援会、卒園生友の会の皆様の主催でお祝いの会(6/9)を開催しました。

子どもたちからは元気な歌、ほのぼのとした手紙のプレゼント、花束を受け取りました。卒園生の方は、前の晩から徹夜でおいしい料理を作って下さいました。

写真左上:展示コーナー、写真中:子どもたちからの手紙、写真右上:園庭で

- 子どもたちの手紙から抜粋(AYちゃん、AKちゃん)
- 幼稚園の時、協力者の方のところに学園長先生と一緒に行きました。「みんな、なんで眼鏡をかけてるの」と質問してその場の方々みんなに笑われました。園長先生と行けておもしろかった。
- 学園長先生と久美子先生と根川にピクニックに行きました。みんなでお弁当を食べて、ペットショップにいった楽しかったです。

子どもたちの行事から抜粋(春)

卒園式 (3/16)

5名の子どもたちが卒園式を迎え、学園を巣立って行きました。それぞれ学園にいた期間も進路も違いますが、色々な思いを抱えつつ、式で前に整列する姿はとても立派な青年になっていました。



今後の活躍を祈りつつ…ご卒園おめでとうございます。

新年度式 (4/5)

4月5日、3学期の成績UP賞・無遅刻無欠席賞の表彰と新1年生の紹介、今年度のホーム体制の発表をおこないました。

子どもの日の会 (5/5)

学園の子どもたちのために、成長を祝う子どもの日をお祝いし、楽しい行事を計画しました。河西様からのケーキも美味しくいただきました。



母の日の会(5/12) ・ 父の日の会(6/16)

いつもお世話になっている職員に、子どもたちが日頃の感謝の気持ちを伝える機会としました。



母の日の会では、新聞紙でドレスを作るゲームをして盛り上がりました。父の日は、各ホームに学園長を始め、男性職員を招き感謝の気持ちをそれぞれあらわしました。

ボランティアの方々との交流

いなげやさんお料理コンテスト (4/14)

恒例となりましたが、今年もいなげや労働組合様主催の料理コンテストが行われました。皆様とグループに分かれての買い物からお料理作り、普段見ることのできないお店のバックヤードの見学もさせていただきました。



アートワークショップ (6/8)

ゴールドマン・サックス様と子ども地球基金様の共催のアートワークショップが学園ホールにて行われました。今年のテーマは『地球に住む生き物』です。みんなが描いた絵は今年もクロアチアへ送られました。



クリーン多摩川 (6/2)

市民活動となった春の多摩川の川原のごみ拾い活動をしました。学園の担当は日野橋周辺です。参加者は、ライオンズクラブや明るい社会をつくる会、自衛隊で、学園からはボーイスカウト、ガールスカウトの子ども達中心に参加しました。最近の川原はごみが少なくなりました。

ゴールドマン・サックスの皆様とフットサル

5月11日、アディダスフットサルパークにて、フットサルの指導をしていただきました。



学園のアクティビティ

- ・ 創作ダンス 秦野句子先生 【毎週金曜日】
- ・ 音楽レッスン(ピアノ、うたってあそび、歌と遊びの広場) 印牧由規子先生 【毎週1~2回程度】
- ・ 絵画教室 竹中潔先生
- ・ その他 各種スポーツ活動(学園職員の指導)、ボーイスカウト、ガールスカウト など
- ・ 陶芸教室 夏休みに予定しています

屋上農園では、ナスやトマトが毎日収穫できます。園庭の芝刈りは子どもたちもお手伝いします。

サンデーマーケット 7/7

学園・まことくらの活動を地域の皆様に理解していただけること、子どもたちの自立、進学、まことくらの資金の一部とすることを目的に実施しました。



たくさんのご支援ありがとうございました。

錦六子ども会七夕 (7/7)

今年はサンデーマーケットと一緒にしました。事前に集まって短冊を書いた子、当日その場で書いた子、様々でしたが、町会の役員さんも一緒に楽しみました。



ボーイスカウトとガールスカウト活動



ガーデンパーティで冒険コーナーとして根川でのカヌー遊びとロープワークで作った手作りの橋(写真)は、毎年一番人気です。ガールスカウトはお茶席でした。

後援会からのお知らせ

毎年、多くの方々から後援会費をご送金いただき、心より感謝を申し上げます。今後とも変わらぬご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

(至誠学園後援会会長 佐々木信孝)

また、新規のご入会も随時受け付けております。子どもたちのために、あたたかいご支援いただけますようご入会をお願いいたします。すでにご入金いただいている方には、重ねてのご案内を失礼いたします。

会費の納入は下記の口座にて承ります。

< 郵便振替口座 >

口座番号 00140 - 2 - 356681

口座名 至誠学園後援会

< 銀行口座 >

三井住友信託銀行立川支店(銀行名変更)

口座番号 普通 7902588

多摩信用金庫錦町支店

口座番号 普通 0269785

口座名 至誠学園後援会

< 連絡先 > 至誠学園後援会事務局

立川市錦町 6-26-15(至誠学園) TEL 042-524-2601

卒園生の活躍 園長先生おめでとうございます



高橋利一統括学園長叙勲のお祝いの会(6/9、4Pの記事参照)で当日のお料理を徹夜で作っていただきました。

写真上、左から休日返上で箱根から駆けつけて下さった調理師(和食)の上山肇さん。まん中、おすし職人の真壁哲也さん。



写真左:お祝いの会であいさつする「卒園生友の会」の真壁一郎会長さん。



写真:ガーデンパーティでしっかりとした日本舞踊を披露して下さいました渡辺美香さん。聴覚障害を乗り越えて活動されています。

卒園生からのおたより 一部紹介します。

養子縁組でフランスへいったマリモさんの結婚式がパリ郊外の教会で行われ(5/27)、学園長に招待状が来ました。残念ながら出席できず、お祝いのお花を送りました。

モンテッソリ 園内保育

「いっぱい食べてね」

羽村動物園へ遠足(6/7)。

毎回、子どもたちがとても楽しみにしているのが、モルモットとのふれあい(抱っこしたり遊んだりできる)とペンギンのえさやり(写真左)です。



平成25年度 職員専門研修予定

昨年に引き続き、学園、大地の家、大空の家の合同で各先生方をお願いをしています。

- ・「子どもの精神発達」年6回
法政大学教授 皆川邦直先生
- ・「法人の理念とケアワーク」年12回 新入職員必修
淑徳大学名誉教授 金子 保先生
- ・「児童の愛着障害・発達障害への支援とその理解」
法政大学教授 小野純平先生 年6回
- ・「実践力を高めるグループワーク」
昭和女子大教授 高橋久雄先生 年6回
- ・「ケーススタディ」年4回 心理、FSW 必修
淑徳大学名誉教授 金子 保先生
- ・「施設の組織運営とマネジメント」 年8回
ルーテル学院大学非常勤講師 尾崎眞三先生
(株)川原経営総合センター 高橋喜彦先生
- ・「社会的養護の課題と未来」
高橋利一統括学園長(法政大学名誉教授)
- ・「児童の権利擁護を考える」年4回
社会事業大学名誉教授 若穂井透弁護士
- ・新任職員研修(H25採用のフォローアップ)
この他に毎年子どもたちの歯の健康のお話をしてくださるミルク歯科伊藤憲春先生や他施設の見学や外部の研修にも積極的に参加し、研鑽を重ねています。



金子保先生の新任職員研修「法人理念とケアワーク」(学園、大地、大空の合同) <至誠大空の家にて>

里親支援専門相談員が就任しました。

平成24年度より、国の制度として児童養護施設及び乳児院に、里親支援の業務を担当する「里親支援専門相談員」が置かれました。施設の養護業務とは別に、里親・地域に対する専門職として児童相談所との連携のもとで活動します。地域の社会的養護の拠点として、これからの施設の役割を感じます。富田愛職員(至誠学園)、小林倫子職員(至誠大地の家)です。

小山廣重 児童事業本部長

今後の予定

11月22日、第10回児童虐待防止月間記念セミナーとして、子ども未来センターで、村瀬嘉代子先生(日本臨床心理士会会長)の講演会を予定しております。地域で子どもを育てることについてのお話ですので、ぜひ皆様ご参加ください。

**グループホーム探訪シリーズ 第7回
至誠大地の家 「青柳 House」**



本園から歩いて2分の国立市青柳の住宅地に、昨年4月に至誠大地の家の地域小規模児童養護施設として開設しました。年中から小学生の男女6人が



生活し、日中はモンテッソーリ立川子どもの家と地域の小学校へ通学しています。本園の行事等に参加し本園とは異なる自治会になりますが子供会にも参加しています。

週末の食事はとても楽しみです。栄養士とも相談しながら、子どもたちとメニューを考えて、買い物に行って、皆で作っていただきます。近隣の方々もあたたかい方ばかりで、生垣の剪定をしてくださったり、先日はスイカをいただいたりと、子どもたちにとって社会性を深める機会をいただいています。青柳 HOUSE では、皆で出かけ共通の体験をすることも大切にしている、先日は高尾山に頑張って登りました。夏休みは川遊びに出かけるのを楽しみにしています。

高橋利一統括学園長の近況

児童養護施設と里親家庭からの自立を控えた高校生等児童に対して、生活技術やコミュニケーション、社会のマナーなどについて学ぶNPOエンジェルサポートプログラムの報告会(5/19)に行ってきました。

厚労省の発表された社会的養護の将来像について、学園としての未来を共有し、今後の学園の中長期計画に反映するゼミナールを開催する予定です。

子どもたちの自治会活動

各ホームから1名ずつ子どもの代表を選んで、子どもたちの話し合いの場をつくりました。学園の行事(クリスマス会等)に職員と一緒に参加したり、子どもたちの意見を出せる場をめざします。今はホーム紹介をしながら、自分の考えを相手にわかってもらうという練習を重ねています。

第三者評価を受けました

至誠学園は、子どもたちの調査、至誠大地の家では、職員と子どもたちの調査(IMSジャパン)を受けました。(H25年2月~3月)

編集後記: 5月の子どもの日は、水ふうせん遊びで大人も子どももみんなびしょぬれで楽しみましたし、運動会(立川三小等)では子どもたちは大活躍しました。みんなが楽しく過ごせるように工夫し、支援していきたいと思っています。よろしくお祈りします。 広報委員一同